

令和3年11月24日

全校朝会のお話

千 Show フェスタ その2

あいさつをします。小さな声でしましょう。

先週の金曜日と土曜日は「千 Show フェスタ」でした。今までの学芸会と同じことができないので、「千 Show フェスタ」と名付けた発表会にしました。できないことがある中での準備や練習でしたが、どの学年もとてもがんばりました。今日は、その感想です。

1年生の「あいうえおであそぼう」は学校で今まで勉強したことを中心に発表していました。小学校に入って勉強したことや給食のことがよく分かりました。6年生への感謝の気持ちも伝えるところもありました。とてもいい手紙でした。マット運動も上手でした。

2年生の「ダンスのきれいな王様」は劇の中のダンスや縄跳びがよくできていました。王様登場のファンファーレと終わりに全員でダンスをするところの盛り上がりや印象に残りました。

3・4年生にはアイデアを感じました。3年生の「3s of music」は合奏や図工で作った指人形を使いながら映画の歌とうまく合わせていました。後ろの映像も効果的でした。千駄ヶ谷を盛り上げようという気持ちも伝わってきました。

4年生の「Sendagaya2021」はオリパラを思い出す合奏「ドラゴンクエスト」やピクトグラムがありました。始めと終わりの行進も立派でした。ダンスや行進などの集団行動とピクトグラムなどの個の動きがバランスよくまとめられていました。

5・6年生の劇は時間を短くしなければならないので、工夫して表現していました。5年生の「モモと時間どろぼう」は、練習期間中に出来上がるのか心配していましたが、最後の3日間でぐんぐんぐんとよくなりました。6年生の劇と比べても遜色なくなりました。特に時間どろぼうのダンスが素晴らしかったです。

6年生の「ユタと不思議な仲間たち」は自分たちで相談をして、最終日にフロアでの演技や走り抜けを加えるなど、最後まで楽しみながら劇を進化させていました。これこそ主体的対話的な学習です。「座敷童隊」のおもしろさに今年の6年生のいい雰囲気を感じました。そして、最後に流れる写真やビデオが感動的でした。

発表とともに感心したのが、係や準備や後片付けです。どの学年もてきぱきと自分たちでやっていました。今回の千 Show フェスタは、みんなが力を合わせて一生懸命にやったので大成功したのだと思います。これからも皆で力を合わせて、千駄ヶ谷小学校を盛り上げていってほしいと思います。

今週は、3日間ですが、健康に気を付け、元気に過ごしましょう。